

■大善寺は新せん組と関りがあるときいておどろきました。薬師如来像は勝沼で有名なぶどうを持っていることが分かりました。コノ像は平安時代の初期らへんに創られたのに今の特産品のぶどうがありすごいと思いました。ていねいに教えてくれたのでより理解が深まりました。玉穂中：野呂瀬花菜■観音様の手が思ったより多かったのびっくりしました。わたしは歴史が好きだけど、お寺のことはよく知らないのもっと知りたいと思いました。屋根がかわらじゃなくてびっくりしました。玉穂南小：深沢梨花■カイコがいとをはくことがおどろいた。玉穂南小：小林幸翔■みんないろいろなハニワがあって面白かった。ハニワを作るのがむずかしかった。ハニワのかけらがいっぱいあっておどろいた。■土の中でたくさんの土ぐがうまっているとわかりました。昔の人はどんぐりを食べていることにびっくりしました。玉穂南小：深沢健心■昔から今にかけていろいろなものや事が変わったことがわかった。赤紙を見て戦争のおそろしさを知った。生きているかいこを見た。だっぴは4回することが分かった。玉穂南小：深沢芽生■いろいろな文様の土器がありました。水煙文土器はかわいい文様でした。しゃっちゃんを作るとき、最初は緊張してましたが上手にできてうれしかったです。玉穂南小：古屋恵麻■調査時から全国的な注目を浴び連日のように見学者が訪れた。三村小：羽中田梨央■階段を147段登った後にたくさんの仏像を見てからまた階段をおりなければいけなかったから大変だった。後ろの部屋でいろいろ見れて楽しかった。玉穂南小：東野ななみ■いろいろなどぐうを見ておもったことはあたまだけの物が多かったのと、どくとくなくおつきだったことです。どぐうにも名前がついていることにおどろきました。どぐうづくりをやってみたら、すぐ土がかんそうしてひびがたくさん入ってしまいました。むずかしかったです。かざられているのはとてもうまくてすごいと思いました。玉穂南小：早川こはる

■中央市ふるさと祭り

ジュニア・リーダー会としてブースを設置しビュンビュンコマとバルーンアートを制作し、まつりの来場者に配付しました。

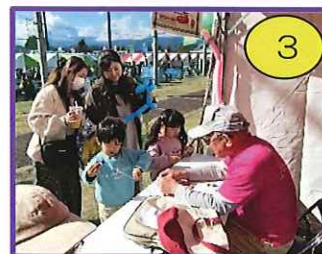


1



2

保護者の皆様方も協力してくれました



3



4

《写真の説明》12名のJL会員が参加

- ①まつり開始前からJL会のメンバーはバルーンアートを製作していました。
- ②保護者の方も風船を膨らませるお手伝いをしてくれました。
- ③JL会望月会長がビュンビュンコマのまわし方を来場者に教えています。
- ④来場者の子ども達が大量ブースに見えて製作と配付を一生懸命行っているところです。

◇◆◇編集後記◇◆◇

「家庭の日」「青少年を育む日」の啓発作品募集事業が令和7年度も市内の小中学校の協力を得て実施することができました。児童・生徒のみなさんご応募をありがとうございました。次年度も応募をお待ちしております。



■ジュニア・リーダー会

「クリスマス会」「反省会」が12月20日に玉穂総合会館において行われました。市長さんも激励に見えました。会員たちはケーキ作りやバルーンアート制作をするなどして親睦を深めました。

発行・編集：青少年育成中央市民会議

事務局：中央市教育委員会生涯教育課

青少年育成力カウンセラー 原田廣明

事務担当 手塚あすみ

《住所》 中央市臼井阿原301番地1

《電話》 055-274-8522（生涯教育課）

《FAX》 055-274-7132（生涯教育課）

《Mail》 seishounen@city.chuo.yamanashi.jp

《市民会議の主要な事業》

※市民会議「総会」「市民大会」 (5月下旬)

※子どもクラブ親睦球技大会 (7月下旬)

※夏季防犯パトロール (7月・8月)

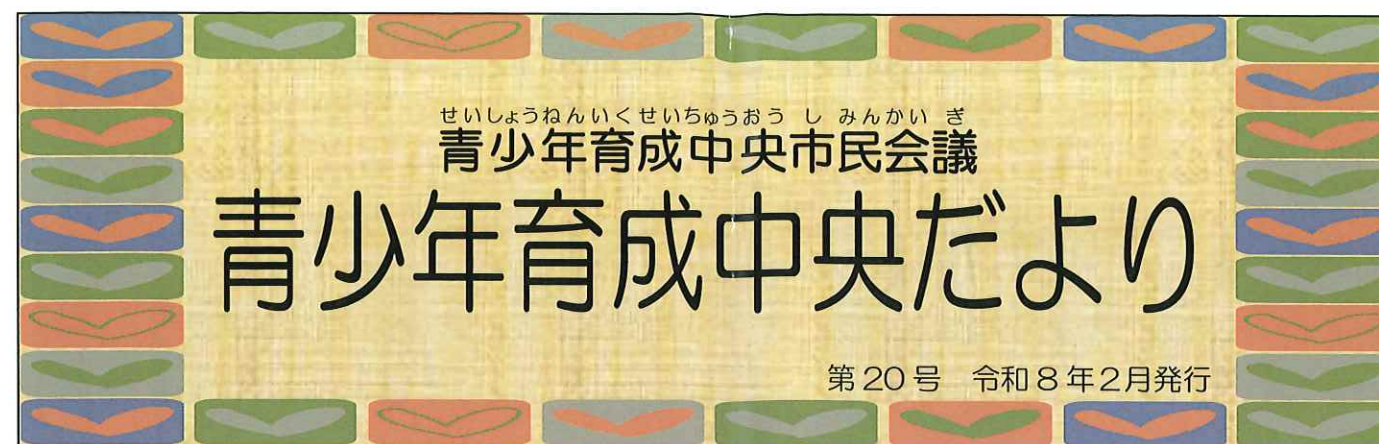
※子ども・若者育成支援推進大会 (11月上旬)

※フレンドシップちゅうおう (11月中旬)

※冬季防犯パトロール (12月下旬)

※機関紙 青少年育成中央だより発行 (2月下旬)

※年度版ポスターカレンダー発行 (4月上旬)



《子ども・若者育成支援推進大会》

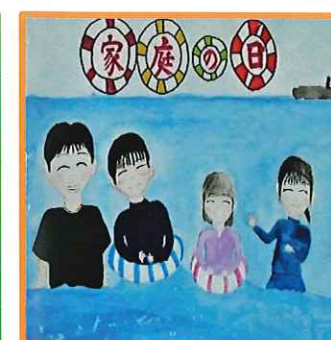
実施日：令和7年11月21日
玉穂生涯学習館

■毎月第①日曜日は「家庭の日」、第③日曜日は「青少年を育む日」です。青少年育成中央市民会議では、家族の温もりを感じて「絆」を深める日の普及・啓発を目標としています。毎年十一月は全国的に強調月間が開催されています。本市でも毎年この月に本大会を開催しています。大会では家庭の日の啓発作品募集事業で特選に選ばれた児童・生徒二十一人を招待して作品の発表もありました。■本年度は市内小中学校において校内での選出はせず提出のあった作品を全て教育委員会へ搬入していただき、最終審査を教委で行いました。合計の作品数は一〇〇点もありました。作文部門では一七六点、ポスター部門では低学年と高学年で七一五点、そして子どもフォト部門では一〇九点の応募がありました。いずれも素晴らしい作品ばかりであり、事務局としても大変悩みました。■推進大会の夜に行われた作品の発表では三部門で特選に入賞した児童・生徒からとても熱のこもった発表がありました。保護者からは惜しみない拍手がありました。

「家庭の日」「青少年を育む日」青少年育成中央市民会議ポスター事業

ポスター作品(特選)の一部を紹介します。「コメント」は本人の原文です。

☆☆☆下記の作品は青少年育成山梨県民会議ポスター事業で「佳作」に入選した作品です☆☆☆



■玉穂南小学校■
2年 栗林茉優
(くりばやしめゆ)

わたしは、なつやすみにかぞくで海に行きました。おとうとははじめての海でさいしょはとてもおどろいていたけどかぞくみんなでのしめてよかったです。

■田富小学校■
4年 望月心晴
(もちづきこはる)

この絵は家族でキャンプに行ってバーベキューを楽しんだ時の絵です。自然の中でご飯を作るのも楽しかったし、家族みんなで楽しい時間をふやして家族との仲をふかめました。また行きたいです。

■田富北小学校■
6年 渡邊梨央
(わたなべりお)

私は、スポーツをしていて、家族で過ごす時間が少ないです。でも、毎年千葉の祖父母の家に行きます。家族で行く海がとっても大好きです。来年も行きたいです。

■玉穂中学校■
1年 唯井美月
(ただいみずき)

さいきんは、私が小さいころに比べて外で家ぞくとあそぶ機会が少なくなった気がしたので、また昔のようにあそびたい！と思い家ぞくで仲むつまじくあそんでいるようすを描きました。

☆☆☆ 表彰式【作文部門・ポスター部門・子どもフォト部門】☆☆☆

「家庭の日」「青少年を育む日」の啓発作品より、特選に選ばれた児童・生徒の発表がありました。本年度は「作文」の部は 176 点、「ポスター」の部は 715 点、「フォトコンテスト」の部は 109 点、合計 1,000 点の応募がありました。特選に選ばれた 3 部門、21 名の児童・生徒達はステージの演台前に立ち、会場に向かって元気よく作品を発表してくれました。(発表の一コマです)

特選者 13 名とフォト部門 1 名です
 ≪みなさん素晴らしいポスターでした≫



当日は、教育長職務代理者の石原英一様に賞状の代読をしていただきました



子どもフォト部門



記念撮影
 元気よく発表してくれました



≪下記の表は部門別【特選者】21 名の一覧です≫ ※本年度より 3 部門が対象となりました

学 校 名	作文の部 (小学校は対象が 6 年生です)	ポスターの部 ≪低学年≫ 1 年生～3 年生	ポスターの部 ≪高学年≫ 4 年生～6 年生	子ども フォトコンテストの部 (対象は小学生です)
三村小学校	6 年 大野遥未	3 年 古泉杏咲	該当者はありませんでした	
玉穂南小学校	6 年 鷹野陽人	2 年 栗林茉優	4 年 稲山智美	
田富小学校	6 年 佐藤大騎	3 年 駒井菜々子	4 年 望月心晴	
田富北小学校	提出はありませんでした	2 年 碓井夏向	6 年 渡邊梨央	
田富南小学校	6 年 藤井真樹	2 年 市川知樹	4 年 佐々木紬	
豊富小学校	6 年 廣瀬凜杏	1 年 丸山凜太郎	5 年 田中里空	
玉穂中学校	1 年 横内大聖	1 年 唯井美月		
田富中学校	1 年 佐野心奏	3 年 鮎澤桜那		

【子どもフォトコンテストの部】(対象：小学生)
 【特選】田富南小学校 2 年 市川知樹 (いちかわともき)
 写真のタイトル：≪じいじが大好き≫

オギノリバーシティ店 東側入口通路に展示しました。大勢のみなさんに見ていただきました



☆青少年は社会のかけがえのない…☆ ～大会宣言朗読～

毎年、11 月は「全国子ども・若者育成支援強調月間」が全国的に展開されています。市民会議もこの提唱に呼応して、「子ども・若者育成支援推進大会」を実施しています。大会では、子どもクラブ指導員会の岩田耶馬人 会長 (新成島自治会) から大会宣言が力強く読み上げられ、参加者からの賛同を受け採択されました。私達は中央市の青少年が明るく健やかにそして心豊かに逞しく育つことを目指し地域の青少年のために事業を展開し、地域にいる役員のお力を借りながら、活動していくことを誓いました。



【あいさつ・声かけ運動】令和 7 年度：地域にいる「青少年育成推進員」の協力を得て、6 小学校の正門付近にて「おはよう」のあいさつを児童に呼びかけました。

＜実施日＞令和 7 年度 4 回実施 ①5 月 30 日 ②7 月 18 日 ③9 月 12 日 ④11 月 14 日
 実施時間 午前 7 時 45 分～8 時 15 分 (30 分間)



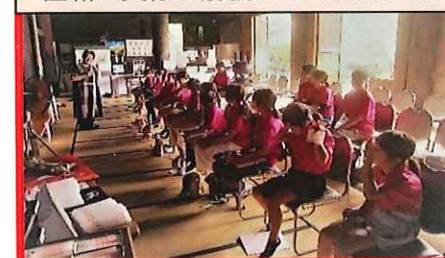
■「玉穂南小学校子ども守り隊」≪交通安全功労者表彰受賞≫
 交通安全思想の普及や交通安全の確保に貢献した功績が認められ、国の令和 7 年度交通安全功労者表彰を受賞しました。子ども守り隊は平成 16 年に発足して以来、玉穂南小に通う児童が交通事故に遭ったり犯罪に巻き込まれないように、20 年以上にわたって活動しています。長年に渡り、見守り活動を行ってきた「田中好久」さんは、この活動に対する功績が認められ、この度の受賞となりました。(写真左で児童を迎え入れているのが田中さんです) 市広報 11 月号にも掲載されました。今後とも児童の見守り活動をよろしくお願いいたします。

【夏季防犯パトロール：冬季防犯パトロール】青少年育成推進員 58 名

市長より委嘱を受けて活動する推進員の協力を受けてパトロールを実施しました。田富地区はふるさと公園・オギノリバーシティ店 2 階ゲームコーナー、玉穂豊富地区はイオンタウンのボウリング場とその付近をパトロールしました。緊急案件などはありませんでした。

中央市ジュニア・リーダー会「活動報告」≪野外研修≫ 実施日：令和 7 年 8 月 1 日 (金)
 【見学・体験学習】場所：①大善寺 ②釈迦堂遺跡博物館 ③豊富郷土資料館

住職の奥様が解説してくれました



■大善寺：
 奈良時代に行基により開創された歴史あるお寺を見学し、ぶどう寺と呼ばれている理由など不思議で興味深い説明を受けました。

水煙文土器が有名です



■釈迦堂遺跡博物館：
 釈迦堂遺跡から出土した芸術作品のような縄文土器や色々な表情の土偶に目を奪われました。体験学習では土器を作り、先人の技術の高さを実感しました。

展示物は市民からの提供です



■豊富郷土資料館：
 内藤館長より先祖代々の品々、今では珍しい生活用具などを詳しく説明してもらいました。中央市の未来を背負う子ども達は地元の歴史の勉強も忘れません。

■ 参加したジュニア・リーダー会員の感想文です。紹介します。(原文のまま掲載)

■じょうもんどき。どくうをつくるのがたのしかった。玉穂南小：田中新 ■色々な神の形があつてかおもちがうしてのおおきさなどもちがいました。なかにはとても大きな神がいてびっくりしました。おでこへんに大きなほくろみたいなのがありました。三村小：佐藤萌々香 ■つぼの中にお金が入ってたからどうしてお金が入ってるんだろうと思いました。147 だんのかいだんがすごくきつかったです。玉穂南小：窪田遥妃 ■土器と土ぐうはちがうものでつくられていることを知った。土器→ねんど、土ぐう→土、土ぐう作りもはやく土がたまってしまう大変だったけどとても楽しくなつてくできる物になりました。玉穂中：羽中田直桜